

## ゴミのイメージ

### 静岡市内中学校

#### 天野さん

皆さんは、ゴミというものにどういうイメージをもっていますか？ほとんどの人は「汚れていて、汚いもの。廃棄物。いらぬもの。」と答えると思います。「ゴミ」という言葉の意味は三つあり、①土、砂、紙切れなどの細かい汚いもの、②使えなくなったり、いらなくなつて捨てたもの、③価値のないもの、と辞書に書いてありました。皆さんがイメージしていたのと同じだったと思います。けれど、私は大人になったときには「ゴミ」のイメージが変わっていてほしいと思います。「ゴミ」が今よりも価値のあるものになってほしいです。そうすればきっと今よりもゴミは減り、いろいろと利用される時代になつていると思います。

まず、ゴミを減らすために何ができるのでしょうか。

私は、小学六年生の時、友達とゴミ拾いをした時のことが印象に残っています。家の近くの広場でゴミ拾いを行いました。ゴミを拾っている間、ちりとりや傘、電池などが落ちていました。私は、短い時間でもあつという間にたくさんものを拾うことができてびっくりしま

した。もちろん、ゴミが多いことはよいとは思いません。そして、拾うゴミが少なくなつたらいいな、と思いました。また、ゴミを拾う人が増えてほしいとも思いましたがそのような人はあまりいません。友達とゴミ拾いをして帰ってきたとき兄弟は「また、ゴミを拾ってきたの？」とあきれた顔で言い、ゴミ拾いに対しては何も関心を持ちませんでした。私も、拾っていて汚くなって思うときはありますが、来た時よりきれいになつてうれしいという気持ちになります。そのような気持ちから、私はゴミ拾いが好きになりました。けれど、なぜゴミが捨てられてしまったのだらうとも思いました。

ある日、友達とゴミ拾いをしているときに知らないおじさんが私たちに声をかけてくれました。「いつもここにタバコを捨てちゃつてゴミね。今度捨てようとしたら、おねえちゃんたちのことを思い出して、タバコを吸った後はそこらへんに捨てないようにするよ。」と、言ってくれました。私はそれを言われてとてもうれしい気持ちになり、私たちがしていることが相手に伝わっているということがわかりました。この人のように、なんとなく捨ててしまっていた自分の行動をふり返って、直そうという人がもっと増えてほしいです。

他にも、ゴミを利用するために私たちは何ができるのでしょうか。ペットボトルや段ボール、食品トレイなどはリサイクルボックスで

リサイクルしています。回収できないものは、そのままゴミとして出します。私はそれを、何か利用できないかと思いました。私の家では、

そして、ゴミを減らしていく仲間を増やして、ゴミのイメージを変えていきたいです。

半年前から生ゴミを利用する活動が始まりました。それはコンポストです。コンポストというのは家庭で生まれた生ゴミなどを、発酵させて作るたい肥です。そのたい肥を畑に混ぜて使用しています。この活動を始めてから私の家では二つの良いことがありました。一つ目は、出すゴミの量が減りました。生ゴミは水分を多く含んでいて重かったのですが、コンポストを行う前と比べて半分になりました。また、生ゴミを含んだゴミ袋には虫がつくので嫌だったのですが、生ゴミが減ったことで虫が減り、持ちやすくなりました。二つ目は、できたたい肥を土に混ぜると土が柔らかくなって野菜がよく育つ気がしました。畑でいろいろな種類の野菜を育てていますが、たい肥を入れると大きく育ちたくさん野菜がとれました。野菜を育てるためには、たい肥以外にもお水や肥料などいろいろ加える必要はありますが、今まで捨てていたものが利用できてとても嬉しくなりました。

私は今農業に興味があり、できれば将来環境にやさしい農家になりたいと思っています。ゴミを減らすためにコンポストを通して生ゴミを活用し、野菜を育てることができたら嬉しいです。作った野菜を売るときに、一緒にゴミを利用したということ伝えていきたいです。